

| | | | | | |
|---------------|--|---|---|--|----------------------------|
| 科目名 | 歴史総合 | 単位数 | 2 | 学科・学年・学級 | 森林環境科 1年1組 普通科 1年2組 |
| 学習の到達目標 | 近現代の歴史の変化に関わる事象について、日本史と世界史の関連性を理解し、グローバルな視点から課題を多角的・多面的に考察、議論する力を養うとともに、国際社会の形成者として、我が国の歴史や他国の文化を尊重する資質や能力を育むことを目指す。 | | | 教科書・副教材等 | わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川出版社） |
| 評価規準 | | | | | |
| 観点 | 評価規準 | | | 方法 | |
| 知識・技能 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、広い視野から世界と日本を捉え、近現代の歴史を理解している。諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業プリント、ノート 資料の読み取り | |
| 思考・判断・表現 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色を相互の関連性や現在とのつながりに着目して、多角的・多面的に考察できる。また、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けた構想や説明、話し合いができる。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ノートなどの提出物 資料の読み取りや活用 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現に向けて課題を主体的に追求、解決しようとする態度を身に付けている。国際社会の形成者として、日本の歴史、他国や他国の文化、国際平和を尊重することの大切さを認識している。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 ノートなどの提出物 課題発見及び解決に関する論述やレポート | |
| 学習計画 | | | | | |
| | 学習内容 | 学習のねらい | | | 考査 |
| 1 学 期 | 第1部 近代化と私たち 近代化への問い 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国 5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新 9 富国強兵と文明開化 10 日本の明治初期の外交 11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と日清戦争 13 帝国主義 14 日露戦争と韓国併合 | <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。 アジアの繁栄、ヨーロッパ各国のアジア進出、世界的な規模での経済発展について理解する。 清や江戸幕府の統治法や経済成長について学び、琉球とアイヌの役割に留意して、江戸時代の日本の商品生産や対外貿易の特徴を理解する。 産業革命によるヨーロッパ各国の変化を理解し、世界的な影響を考える。 開国後、日本では欧米の知識・技術の受容が進んだことを理解し、この時代の国際的諸運動の進展や社会の変容について具体例を整理する。 日本の産業革命の展開や、紡績業・製糸業の発展を理解し、その特徴を考察する。 帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを世界的な視野で話し合う。 | | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い 1 大衆運動の芽生え 2 第一次世界大戦 3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会 9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア進出 12 第二次世界大戦 13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結 15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立 | <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。 第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察し、総力戦による社会の変化を学ぶ。 日本の参戦後、日中両国間での動きを世界的な視野から考察する。 国際協調のなかで結ばれた条約の内容を整理し、各民族による独立や国家建設の動きについて理解を深める。 恐慌が世界に波及した要因を探り、その後の世界にあたえた影響を考察する。 第二次世界大戦が戦後の世界にどのような影響を与えたか考え、グローバルな視点から考察したことを話し合う。 連合国による日本の民主化政策理解し、その目的や特徴を探る。 連合国による日本の占領政策の転換について理解し、それが日本の政治・経済にどのような影響を与えていったかを考察する。 | | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 第3部 グローバル化と私たち グローバル化への問い 1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と雪解け 3 冷戦の展開 4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長の光と影 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦の地域紛争 13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。 国際社会で第三世界が形成された背景と、その活動について理解する。 ベトナム戦争発生の背景や経過、アメリカの政治におよぼした影響について考察する。 1970年代の東西の緊張緩和の経過を理解し、その背景となった米ソの威信低下や、米中接近の理由を探る。 高度経済成長後も、日本が安定成長を維持できた理由について理解する。 冷戦後の世界で、経済のグローバル化が進んだことで生じた社会の変化を認識し、グローバル化の前提となった、地域統合や自由貿易圏、WTOの設立の意義を対話によって理解を深める。 日本の諸課題について、国内で、また、諸外国との関係でどのように対応が必要か多面的・多角的に考察し、探究する。 | | | 学年末 |

| | | | | | |
|---------------|--|--|---|--|--|
| 科目名 | 地理総合 | 単位数 | 2 | 学科・学年・学級 | 普通科 1年2組 |
| 学習の到達目標 | 現代世界の諸事象について、地理的な見方や考え方を身に付ける。 地図や地理情報システムを用いて、地理的な情報をまとめ、地球的視野から現代の諸課題について考え、行動する態度を養う。 | | | 教科書・副教材等 | 地理総合 世界に学び地域へつなぐ(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院) |
| 評 価 規 準 | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | 方 法 | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性を理解している。 世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、多面的・多角的に考察している。 地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 資料の読み取り課題への取り組みや資料を活用した発表 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われ、多面的・多角的に考察し、深く理解しようとしている。 世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深めている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 発表の積極性と内容 課題の内容 ノートのまとめ方 | |
| 学 習 計 画 | | | | | |
| | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い | | | 考 査 |
| 1 学 期 | 第1章 地図とGISの活用 第2章 地理的環境の特色 | <ul style="list-style-type: none"> 球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。 GISの特徴や利用方法、しくみについて理解し、地域の特徴を分析する方法と技能を身に付ける。 内的営力や外的営力が地形の形成に与えている影響を理解し、人々の生活文化との関わりについて理解する。 | | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第3章 世界各地の生活文化 | <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解する。 気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して、「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 産業の発達や生活文化の多様性について、主題図や写真などの資料を通じて理解する。 | | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 第4章 地球的課題と国際協力 第5章 生活圏の諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起こっている問題について多面的・多角的に考えていく必要があることを認識する。 地球的課題の問題点やその要因について、主題図やグラフなどの資料を通じて理解し、SDGsと関連付けて解決策を考える。 自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどのようにすれば良いのかを考え、居住地域での防災・減災意識を高める。 | | | 学年末 |

| | | | | | |
|---------------|--|---|---|--|--|
| 科目名 | 地理総合 | 単位数 | 2 | 学科・学年・学級 | 森林環境科 2年1組 |
| 学習の到達目標 | 現代世界の諸事象について、地理的な見方や考え方を身に付ける。 地図や地理情報システムを用いて、地理的な情報をまとめ、地球的視野から現代の諸課題について考え、行動する態度を養う。 | | | 教科書・副教材等 | 地理総合 世界に学び地域へつなぐ（二宮書店） 新詳高等地図（帝国書院） |
| 評 価 規 準 | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | 方 法 | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性を理解している。 世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、多面的・多角的に考察している。 地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 資料の読み取り課題への取り組みや資料を活用した発表 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われ、多面的・多角的に考察し、深く理解しようとしている。 世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深めている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 発表の積極性と内容 課題の内容 ノートのまとめ方 | |
| 学 習 計 画 | | | | | |
| | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い | | | 考 査 |
| 1 学 期 | 第1章 地図とGISの活用 第2章 地理的環境の特色 | <ul style="list-style-type: none"> 球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。 GISの特徴や利用方法、しくみについて理解し、地域の特徴を分析する方法と技能を身に付ける。 内的営力や外的営力が地形の形成に与えている影響を理解し、人々の生活文化との関わりについて理解する。 | | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第3章 世界各地の生活文化 | <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解する。 気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して、「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 産業の発達や生活文化の多様性について、主題図や写真などの資料を通じて理解する。 | | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 第4章 地球的課題と国際協力 第5章 生活圏の諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起こっている問題について多面的・多角的に考えていく必要があることを認識する。 地球的課題の問題点やその要因について、主題図やグラフなどの資料を通じて理解し、SDGsと関連付けて解決策を考える。 自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどうすれば良いのかを考え、居住地域での防災・減災意識を高める。 | | | 学年末 |

| 科目名 | 地理探究 | 単位数 | 2 | 学科・学年・学級 | 普通科2年2組(選択) |
|---------------|--|--|----------------------|--|-------------|
| 学習の到達目標 | 現代世界の地理的認識を深める。系統地理的、地誌的な探究の方法を学習し、地理的な見方や考え方など地理的技能を身に付ける。 現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する力を身に付ける。 | | 教科書 ・ 副教材 等 | 地理探究(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院) | |
| 評 価 規 準 | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | 方 法 | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性について理解している。 地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解している。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察している。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができる | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 資料の読み取り課題への取り組みや資料を活用した発表 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 世界諸地域や日本において見られる課題を、主体的に追究、解決しようとしている。 自然環境について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 発表の積極性と内容 課題の内容 ノートのまとめ方 | |
| 学 習 計 画 | | | | | |
| | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い | | | 考 査 |
| 1 学 期 | 第I編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 | <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解する。 気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して、「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 | | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第2章 資源と産業 第3章 人・モノ・金のつながり | <ul style="list-style-type: none"> 世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布を理解し、利用の現状や方法を理解する。 鉱工業が発展していく中で生じる貧富の差の現状を捉え、その解決に向けた取組を考える。 世界の工業について、現状と課題を考察する。 現代世界の貿易と経済圏について考察する。経済発展の結果として起きている様々な問題について、生活文化と対応させながら考える。 | | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 第4章 人口、村落・都市 第5章 文化と国家 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の都市・居住問題の要因や対策をとらえる。 世界の衣食住に地域的差異があることに気づくとともに、世界的に画一化が進む現状を考察する。 現代世界の民族・領土問題を大観し、そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。 | | | 学年末 |

| | | | | | |
|---------------|---|--|---|--|-----------------------------|
| 科目名 | 日本史探究 | 単位数 | 2 | 学科・学年・学級 | 普通科2年2組(選択) |
| 学習の到達目標 | 日本の歴史の展開を世界的視野に立ち、歴史を構成する要素を、幅広い見方で考察し理解する。民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚、及び国際社会に主体的に対応できる資質を養う。 | | | 教科書・副教材等 | 詳説日本史(山川出版社) 新詳日本史(浜島書店) |
| 評 価 規 準 | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | 方 法 | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解できている。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切、効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 ワークシートやノートの内容 | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して、概念などを活用しながら、多面的・多角的に考察できる。 歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想できる。また、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 史料、統計やグラフなどの資料の読み取りや活用 課題の発見課題及び解決に向けた論述やレポート | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に探究しようとしている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さを認識している。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 発表の積極性と内容 課題やレポートの内容 ノートのまとめ方 | |
| 学 習 計 画 | | | | | |
| | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い | | | 考 査 |
| 1 学 期 | 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷 第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 | <ul style="list-style-type: none"> 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。また、国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成を基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化に着目し、環境への適応と文化の形成について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 | | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方制度の展開と武士 第5章 院政と武士の躍進 1 院政のはじまり 2 院政と平氏政権 第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 | <ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に律令体制の再編と変容を理解する。また、武士の政治進出、土地支配の変容から古代から中世への時代の転換を理解する。 中世の特色を示す適切な資料から、歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 権力の主体の変化、東アジアとの関わりに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察、表現する。 | | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 4 鎌倉文化 第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 | <ul style="list-style-type: none"> 武家政権の成立と展開と変容、産業の発達、宗教や文化の展開、日明貿易と琉球王国、村落や都市の自立、多様な文化を基に、武家政権の伸張や地域権力の成長、社会や文化の特色や変容を理解する。 公武関係の変化、ユーラシアとの交流、経済・文化への影響、地域の多様性などから主題を設定し、中世の国家・社会の変容について多角的・多面的に考察する 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 | | | 学年末 |

| 科目名 | 郷土史探究 | 単位数 | 2 | 学科・学年・学級 | 普通科2年2組(選択) | |
|---------------|--|-----|---|--|--|-------|
| 学習の到達目標 | 郷土の歴史の展開を世界的視野に立ち、歴史を構成する要素を、幅広い見方で考察し理解する。民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚、及び国際社会に主体的に対応できる資質を養う。現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する力を身に付ける。 | | | 教科書・副教材等 | 高校生のための『愛媛県史』学習資料集(愛媛県教育委員会) 詳説日本史(山川出版社) | |
| 評 価 規 準 | | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | 方 法 | | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史の展開について、基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解する。 郷土の社会や文化を地域の特性を踏まえて、多角的な視点で捉え、他の地域との関連性を考慮しながら理解を深める。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業プリント、ノート 資料の読み取り | | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開から課題を見だし、文化と伝統の特色についての認識を深めながら世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断することができる。 諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現することができる。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ノートなどの提出物 資料の読み取りや活用 | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 ノートなどの提出物 課題発見及び解決に関する論述やレポート | | |
| 学 習 計 画 | | | | | | |
| | 学 習 内 容 | | | 学 習 の ね ら い | | |
| 1 学 期 | 第一部 原始・古代 第一章 日本文化の黎明 第二章 古代国家と古代文化の形成 第二部 中世 第三章 中世社会の成立と文化の展開 | | | <ul style="list-style-type: none"> 黎明期の愛媛の歴史的環境、古墳文化の成立過程、律令体制下の地域社会、武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に古代から中世の政治・社会や文化の特色を理解する。 自然環境と人間の生活の関わり、他の地域との交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代から中世の地域社会の形成過程について考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現する。 | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第三部 近世 第四章 幕藩体制の推移と文化の動向 第四部 近代・現代 第五章 近代日本の形成とアジア 第六章 両世界大戦と日本 | | | <ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制下の地域社会、その動揺と地域の変容から近世の生活と文化の特色を理解する。明治維新期の地域社会の変化、学問や教育制度の拡充、社会問題の発生、両大戦の展開などを基に地域社会の生活や社会の変容を理解する。 近世の地域社会の特色、近世から近代への国家や地域の変容、近代文化の形成について多角的・多面的に考察し、歴史の画期などについて表現し、議論する。 | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 第七章 現代の世界と日本 テーマ別編 ・風土と文化、生活と信仰 ・歴史上の人物 | | | <ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、地域社会の政治・経済、国民生活の変容を理解する。 グローバル化の進展、国民生活や地域社会の変化に着目して、地域の政治や経済に関わる課題を見つけ、より良い地域社会のあり方について探究する。 | | 学年末 |

| | | | | | |
|---------------|---|---|---|--|----------------------------|
| 科目名 | 地理探究 | 単位数 | 3 | 学科・学年・学級 | 普通科 3年2組（選択） |
| 学習の到達目標 | 地球的な視野から、地理的事象の空間的な規則性、現代世界の諸事象の地理的認識を深める。地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。 | | | 教科書・副教材等 | 地理探究（二宮書店） 新詳高等地図（帝国書院） |
| 評 価 規 準 | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | 方 法 | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業プリント、ノート 資料の読み取り | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 地図や統計などの諸資料を活用して、現代世界の地理的事象を追究し、考察した過程や結果を適切に表現できている。 課題を系統地理的・地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断できている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ノートなどの提出物 資料の読み取りや活用 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識が高まっている。 国際社会に主体的に生きる日本人としての責任や在り方・生き方について、自覚を深めようとしている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 ノートなどの提出物 課題発見及び解決に関する論述やレポート | |
| 学 習 計 画 | | | | | |
| | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い | | | 考査 |
| 1 学 期 | 第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域 | <ul style="list-style-type: none"> 国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。 東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアの多様な事象を、項目ごとに整理し、日本との結びつきや、地域的特色への理解を深める。 | | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第Ⅲ編 現代世界における これからの日本の国土像 | <ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を基にして、自然災害に強い国土、変化する産業と持続可能な成長、人口減少社会の活性化、多文化共生社会の実現に関して、将来の日本の国土像について、日本がかかえる地理的な課題を考察する。 現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、その解決の方向性や将来像について探究し、表現する。 | | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 地図とGISの理解を深める | <ul style="list-style-type: none"> 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 | | | 実施なし |

| 科目名 | 日本史探究 | 単位数 | 2,3 | 学科・学年・学級 | 普通科3年2組(選択) |
|---------------|---|---|-----|--|-----------------------------|
| 学習の到達目標 | 日本の歴史の展開を世界的視野に立ち、歴史を構成する要素を、幅広い見方で考察し理解する。民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚、及び国際社会に主体的に対応できる資質を養う。 | | | 教科書・副教材等 | 詳説日本史(山川出版社) 新詳日本史(浜島書店) |
| 評 価 規 準 | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | 方 法 | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解できている。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切、効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 ワークシートやノートの内容 | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して、概念などを活用しながら、多面的・多角的に考察できる。 歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想できる。また、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 史料、統計やグラフなどの資料の読み取りや活用 課題の発見課題及び解決に向けた論述やレポート | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に探究しようとしている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さを認識している。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 発表の積極性と内容 課題やレポートの内容 ノートのまとめ方 | |
| 学 習 計 画 | | | | | |
| | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い | | | 考 査 |
| 1 学 期 | 第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩体制の構造 第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡 | <ul style="list-style-type: none"> 法や制度による支配秩序の形成と身分制、経済や学問・文化の発展をもとに近世の社会と文化の特色を理解する。資料を読み取り、多面的・多角的に考察し、課題を見つける。 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係に着目して、主題を設定し、国家・社会の変容について歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期を表現する。 | | | 中間・期末 |
| 2 学 期 | 第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家 第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 第15章 1 恐慌の時代 2 第二次世界大戦 | <ul style="list-style-type: none"> 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治をもとに立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 アジアや欧米諸国との関係、欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、国際社会やアジア近隣諸国との関係などに着目して、主題を設定し、それぞれの関係性を多面的・多角的に考察し、歴史の画期について根拠を示して表現する。 | | | 中間・期末 |
| 3 学 期 | 第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長 第18章 激動する世界と日本 1 経済委大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容 | <ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長、社会・経済・情報の国際化を基に、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察し、表現する。 | | | 学年末 |